



発行：なごやか地域福祉2020推進事務局

## なごやか地域福祉2020を進めるための体制づくりを行っています！

### なごやか地域福祉2020推進体制

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの名古屋の地域福祉の方向性を示す計画「なごやか地域福祉2020」の進行管理・評価は、市民、各分野の活動関係者及び学識経験者等で構成する「地域福祉に関する懇談会」および市職員・社協職員で構成する進行管理のための幹事会、ワーキンググループにより行います。この懇談会の構成員は固定化せず、その時々福祉課題に応じて、意見の聴取が必要な団体等に出席を依頼します。

また、社会情勢の変化や国の動向等に応じて、この計画の見直しが必要な場合には、懇談会の意見を参考に改訂を行います。

#### 地域福祉に関する懇談会

##### 【構成メンバー】

学識経験者、団体関係者、  
市民活動関係者、市民委員

#### なごやか地域福祉2020 推進幹事会・ワーキング

##### 【構成メンバー】（関係各課職員）

防災危機管理局、スポーツ市民局  
健康福祉局、子ども青少年局、  
住宅都市局、市・区社協関係部署

## 「地域福祉に関する懇談会」を開催します！

令和3年度「地域福祉に関する懇談会」を下記のとおり開催

令和3年度の「地域福祉に関する  
懇談会」は書面開催となりました。

● 内容：なごやか地域福祉2020の進捗管理について等



＜懇談会の様子＞

公式ホームページでは、計画の推進状況を  
順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



## 「なごやか地域福祉 2020」市民委員さんによる座談会（第2弾）を開催しました！

令和3年12月13日（月）、「なごやか地域福祉 2020」の策定および「地域福祉に関する懇談会」に参画いただいている4名の市民公募委員による座談会（第2弾）を開催しました。子育てや地域の役員をしながら、地域でのつながりづくりや個別の生活支援、権利擁護事業等、各方面で活躍されている委員の方々に、市民の立場からコロナ禍での取り組みや想いを語っていただきました。

### ＜座談会の様子＞



【市民委員】 杉江勇夫さん、伊藤裕通さん  
永田尚子さん、村松万友美さん



### 杉江さん）

地域で行っている高齢者の給食会は、配食に切替えて実施しました。コロナ禍での1人10万円の給付が支給された時期に住民票のない人が見つかりました。民生委員として手続きに同行し、経緯や事情を説明する等の支援をしましたが、自らヘルプが出せない、出さない、または支援を拒否されるという事例がありました。また、わたしの学区では見守りが必要な人をリストアップしているので、常日頃から見守りができ、警察から連絡があった際に役立ったこともあります。



### 伊藤さん）

地域の中に、子どもが不登校状態になり心配している世帯があります。母親には精神的な疾患があるようです。小中学校での福祉教育に協力していますが、学校と福祉の連携の必要性を感じています。私の地域では、コミセンのLINE公式アカウントを作りました。暮らしに役立つ団体や防災情報を見ることができ、ご近所ならではの温かいコメントも届きます。コロナワクチン接種予約の際、スマホを持っていても手続きできない高齢者が多くいました。コロナ禍でIT化が進みましたが、取り残されている感じがする、という不安の声があります。



### 永田さん）

中学校で知的障がい児に関する疑似体験を通し、合理的配慮の視点について伝える活動をしています。障がいのある人の活動はコロナ禍で制限されることが多く、これを機にやらなくなってしまったことが多いと感じています。障害児・者の親は普段から外出がしづらいので、LINEでオープンチャットの場を設けました。オンラインによって楽しみを広げてもらうよい機会でもあるので、母親向けに少人数の研修を行っています。



### 村松さん）

コロナ禍により予定変更になったことで生まれた時間を活用して、以前から関心のあった防災講座を受講することができました。ただ、防災訓練等も軒並み中止になってしまったので、何もやらないことが安全ではないと感じているところです。地域役員の成り手がいないという課題がありますが、プロジェクト制にすることで強制感が薄れ、在宅勤務の人や、子どもの為なら、という人が参加しやすくなると思います。



今後も、市民委員さんをはじめ様々な方のご意見を伺いながら進めていきます！



【編集・発行】 名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課・名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367